

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年11月12日
【四半期会計期間】	第121期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）
【会社名】	高島株式会社
【英訳名】	TAKASHIMA & CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 高島 幸一
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座1丁目15番11号
【電話番号】	(03)3567局0755番
【事務連絡者氏名】	経理ユニットマネージャー 山田 陽
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区銀座1丁目15番11号
【電話番号】	(03)3567局0755番
【事務連絡者氏名】	経理ユニットマネージャー 山田 陽
【縦覧に供する場所】	高島株式会社大阪支店 (大阪市中央区本町3丁目1番15号) 高島株式会社名古屋支店 (名古屋市中区栄5丁目26番39号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第121期 第2四半期連結累計期間	第121期 第2四半期連結会計期間	第120期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高(百万円)	38,487	20,042	80,075
経常利益又は経常損失() (百万円)	8	27	235
四半期(当期)純損失(百万円)	63	45	488
純資産額(百万円)	-	7,639	7,861
総資産額(百万円)	-	34,801	34,649
1株当たり純資産額(円)	-	168.55	173.37
1株当たり四半期(当期)純損失 金額(円)	1.40	1.00	10.78
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	22.0	22.7
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	880	-	1,179
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	113	-	532
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	426	-	17
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	3,034	2,800
従業員数(人)	-	431	450

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、次の連結子会社を清算しております。

名称	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 又は被所有割合 (%)	関係内容
明正興産(株)	東京都 中央区	20	損害保険・ 生命保険	100	保険代理 役員の兼任

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(人)	431 [68]
---------	----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(パートタイマー、嘱託社員、人材会社からの派遣社員を含む。)は、当第2四半期連結会計期間の平均人員を[]外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(人)	284
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員であります。

第2【事業の状況】

1【販売及び仕入の状況】

(1) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における当社グループの販売実績を事業本部別に示すと次のとおりであります。

事業の名称	販売高(百万円)
サステナブル・システム建材事業本部	12,634
カスタム事業本部	1,951
i - ソリューション事業本部	3,183
ブランド&ファッション事業本部	2,273
合計	20,042

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第2四半期連結会計期間における当社グループの仕入実績を事業本部別に示すと次のとおりであります。

事業の名称	仕入高(百万円)
サステナブル・システム建材事業本部	12,720
カスタム事業本部	1,825
i - ソリューション事業本部	4,494
ブランド&ファッション事業本部	2,428
合計	21,469

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間のわが国の経済環境は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安と混乱が世界経済へと波及し、実態経済の減速懸念が高まるとともに、原材料価格や二次製品価格の高騰により弱含みで推移し、設備投資を控える動きや建築需要の後退が見られました。

このような環境の下、当社グループは主力の建築資材分野では売上がほぼ横ばいで推移いたしました。しかしながら、国内外の液晶関連部材および搬送・梱包資材等が、需要の減退、競争激化などにより大きく減少いたしました。

結果として、当社グループの当第2四半期連結会計期間における売上高は20,042百万円、営業利益は91百万円、経常損失は27百万円、四半期純損失は45百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間の事業本部別営業概況は次のとおりであります。

サステナブル・システム建材事業本部

住宅資材分野や太陽光発電分野では市場の低迷により厳しい展開となりましたが、建築土木資材分野で、環境に配慮した基礎杭を伸ばすことにより、事業全体としての売上は、ほぼ横ばいで推移いたしました。

カスタム事業本部

鉄道車輛用部材は、車輛メーカーの製造計画の一部変更により売上が大きく減少いたしました。テント倉庫関係は、大型物件の受注により売上を伸ばすことができました。

i - ソリューション事業本部

競争の激化などを背景に海外での液晶テレビ用部材の受注は回復しませんでした。また、国内においては顧客の設備投資需要の減退や資材高騰による搬送資材や梱包資材の見直しなどから売上が減少いたしました。

ブランド&ファッション事業本部

アパレル市場では全般的な消費低迷のあおりを受けて、衣料品の販売が低調で推移する中、事業全体として売上が減少いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末は、流動資産は26,105百万円（前期末比2.0%増）となりました。主に売上債権の回収がすすんだことで、売上債権が160百万円減少し、在庫が700百万円・現金及び預金が343百万円増加したことによるものです。

固定資産は8,695百万円（前期末比4.0%減）となりました。主に投資有価証券が時価の下落にともない、382百万円減少したことによるものです。

流動負債は22,264百万円（前期末比2.1%増）となりました。主に仕入債務が609百万円増加し、一方で短期借入金が返済により256百万円減少したことによるものです。

固定負債4,897百万円（前期末比1.9%減）となりました。主に繰延税金負債の16百万円減少と、退職給付引当金が80百万円減少したことによるものです。

純資産合計7,639百万円（前期末比2.8%減）となりました。主な要因は四半期純損失63百万円の計上による利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の159百万円の減少によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,034百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間の営業活動における資金の増加は、208百万円となりました。主な要因は、工事代金の前受金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間の投資活動における資金の増加は、2百万円となりました。主な要因は、貸付金の回収によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間の財務活動における資金の減少は、75百万円となりました。主な要因は短期借入金の返済によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	140,000,000
計	140,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	45,645,733	同左	東京証券取引所 市場第一部	-
計	45,645,733	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	-	45,645,733	-	3,801	-	950

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
高島取引先持株会	東京都中央区銀座1丁目15番11号 高島株式会社内	4,527	9.91
みずほ信託退職給付信託みずほ 銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託	東京都中央区晴海1丁目8番12号	2,138	4.68
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2番1号	2,061	4.51
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区有楽町1丁目1番2号	1,818	3.98
日本トラスティ・サービス信託			
銀行株式会社(中央三井アセッ ト信託銀行再信託分・CMTB エクイティインベストメンツ株 式会社信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,762	3.86
日本トラスティ・サービス信託			
銀行株式会社(信託口4G)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,042	2.28
株式会社クラレ	岡山県倉敷市酒津1621番地	1,006	2.20
旭化成建材株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目1番2号	815	1.78
高島従業員持株会	東京都中央区銀座1丁目15番11号	652	1.42
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	628	1.37
計	-	16,450	36.04

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 324,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 44,567,000	44,567	-
単元未満株式	普通株式 754,733	-	-
発行済株式総数	45,645,733	-	-
総株主の議決権	-	44,567	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式8,000株(議決権の数8個)が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
高島株式会社	東京都中央区銀座1丁目15番11号	324,000	-	324,000	0.71
計	-	324,000	-	324,000	0.71

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	165	163	250	207	200	191
最低(円)	126	137	150	188	150	123

(注) 株価の最高・最低は東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,282	2,938
受取手形及び売掛金	19,221	19,382
商品	2,249	1,679
未成工事支出金	668	538
その他	926	1,307
貸倒引当金	243	256
流動資産合計	26,105	25,590
固定資産		
有形固定資産	3,546	3,603
無形固定資産	30	34
投資その他の資産		
投資有価証券	3,564	3,946
その他	2,039	1,936
貸倒引当金	484	461
投資その他の資産合計	5,119	5,422
固定資産合計	8,695	9,059
資産合計	34,801	34,649

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,056	18,446
短期借入金	2,090	2,347
未払法人税等	71	22
賞与引当金	231	267
工事損失引当金	0	-
その他	812	711
流動負債合計	22,264	21,795
固定負債		
長期借入金	2,325	2,325
退職給付引当金	774	854
その他	1,797	1,812
固定負債合計	4,897	4,992
負債合計	27,162	26,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	917	981
自己株式	64	59
株主資本合計	6,480	6,549
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	520	679
土地再評価差額金	783	783
為替換算調整勘定	145	150
評価・換算差額等合計	1,158	1,312
少数株主持分	-	-
純資産合計	7,639	7,861
負債純資産合計	34,801	34,649

(2) 【 四半期連結損益計算書 】
【 第 2 四半期連結累計期間 】

(単位 : 百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	38,487
売上原価	35,450
売上総利益	3,036
販売費及び一般管理費	2,972
営業利益	64
営業外収益	
受取利息	38
受取配当金	43
持分法による投資利益	0
その他	24
営業外収益合計	107
営業外費用	
支払利息	64
手形売却損	14
為替差損	70
その他	14
営業外費用合計	163
経常利益	8
特別利益	
投資有価証券売却益	1
賞与引当金戻入額	43
特別利益合計	44
特別損失	
投資有価証券売却損	6
子会社清算損	0
特別損失合計	6
税金等調整前四半期純利益	46
法人税、住民税及び事業税	64
法人税等調整額	49
法人税等合計	113
少数株主損失 ()	3
四半期純損失 ()	63

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	20,042
売上原価	18,470
売上総利益	1,571
販売費及び一般管理費	1,480
営業利益	91
営業外収益	
受取利息	22
持分法による投資利益	1
その他	1
営業外収益合計	25
営業外費用	
支払利息	33
手形売却損	7
為替差損	99
その他	4
営業外費用合計	144
経常損失()	27
特別利益	-
特別損失	
子会社清算損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失()	27
法人税、住民税及び事業税	51
法人税等調整額	29
法人税等合計	21
少数株主損失()	3
四半期純損失()	45

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	46
減価償却費	121
賞与引当金の増減額(は減少)	35
退職給付引当金の増減額(は減少)	91
貸倒引当金の増減額(は減少)	9
受取利息及び受取配当金	82
支払利息	64
投資有価証券売却益	1
投資有価証券売却損	6
売上債権の増減額(は増加)	121
たな卸資産の増減額(は増加)	688
仕入債務の増減額(は減少)	621
未払消費税等の増減額(は減少)	126
その他	915
小計	882
利息及び配当金の受取額	109
利息の支払額	64
役員退職慰労金の支払額	10
法人税等の支払額	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	880
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	109
固定資産の取得による支出	87
投資有価証券の取得による支出	21
投資有価証券の売却による収入	80
貸付けによる支出	9
貸付金の回収による収入	12
その他	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	113
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	418
その他	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	426
現金及び現金同等物に係る換算差額	105
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	234
現金及び現金同等物の期首残高	2,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,034

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間で連結子会社に含めておりました明正興産(株)は平成20年7月30日付で清算しております。 また、第1四半期連結会計期間より、iTak International(Thailand)Ltd.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。 なお、TAK Electronics(Shanghai)Ltd.は平成20年10月8日よりiTak International(Shanghai)Limited.に商号を変更しております。 また、TAKASHIMA PACKAGING(S)PTE.LTD.は平成20年10月7日よりTAKASHIMA PRO ECO(SHINGAPORE)PTE.LTD.に商号を変更しております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 11社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ、3百万円減少しております。</p> <p>(2) リース取引に関する会計基準の適用 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号平成6年1月18日(日本公認会計士協会会計制度委員会)、平成19年3月30日改正)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、これによる損益へ与える影響は軽微であります。</p>

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
	<p>(3) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用しております。 なお、これによる損益へ与える影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。 なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
3. 繰延税金資産の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

(工事損失引当金)

当第2四半期連結会計期間末において、損失の発生が見込まれ、かつその金額を合理的に見積もることができる請負工事が認識されたものについて、第1四半期連結会計期間より、「工事損失引当金」を計上しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ0百万円減少しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
有形固定資産の減価償却累計額は、2,524百万円であります。	有形固定資産の減価償却累計額は、2,501百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
従業員給与手当	1,070百万円
福利厚生費	274
賞与引当金繰入額	231
旅費交通費	199
退職給付費用	74
減価償却費	68
貸倒引当金繰入額	34

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
従業員給与手当	545百万円
福利厚生費	157
賞与引当金繰入額	117
旅費交通費	95
退職給付費用	35
減価償却費	36

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (百万円)	
現金及び預金勘定	3,282
預入期間が3か月を超える定期預金	247
現金及び現金同等物	<u>3,034</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 45,645,733株

2. 自己株式の種類及び総数

普通株式 324,718株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社及び子会社は国内及び海外の市場における商品売買を行なうほか、関連する取引先に対するファイナンスの提供及び各種プロジェクトの企画、調整、有機的な結合を図る等の活動を行なう商社と言われている単一業種に従事しております。

このため、事業の種類別セグメント情報の記載は行なっておりません。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度の末日に比して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度の末日に比して著しい変動はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	168.55円	1株当たり純資産額	173.37円

2. 1株当たり四半期純損失金額等

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純損失金額	1.40円	1株当たり四半期純損失金額	1.00円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失(百万円)	63	45
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	63	45
期中平均株式数(千株)	45,337	45,330

(重要な後発事象)

(1) TAKASHIMA PACKGING KOREA CO., LTD.の株式の売却

当社は連結子会社であるTAKASHIMA PACKGING KOREA CO., LTD.の全株式の売却を平成20年11月12日開催の取締役会において決議いたしました。概要は次のとおりです。

1. 売却の理由

事業の再編とグループ経営の効率化を進めることによるものであります。

2. 売却する相手の名称

譲渡先は譲渡対象会社TAKASHIMA PACKGING KOREA CO., LTD.の代表取締役社長鄭鉉澤氏で当社とはその他の関係はありません。

3. 売却の時期

平成20年11月14日に株式譲渡契約を締結予定

4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

当該子会社の名称 : TAKASHIMA PACKGING KOREA CO., LTD.

事業内容 : 物流資材の加工・販売

当社との取引内容 : 商品の販売

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率

売却する株式の数 : 30,000株

売却価額 : 3万円(予定価額)

売却益 : 約140百万円

売却後の持分比率 : 0%

(リース取引関係)

前連結会計年度の末日に比して著しい変動はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

高島株式会社
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員 公認会計士 佐野 裕 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 木村 弘巳 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高島株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高島株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期連結財務諸表の重要な後発事象に記載されているとおり、会社は連結子会社であるTAKASHIMA PACKAGING KOREA CO., LTD.の全株式の売却を平成20年11月12日開催の取締役会において決議している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。